

## 小委員会の調査報告書

教科名	社会科（地図）	委員長名 高橋 健史
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日（火）に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、社会小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日（水）から7月21日（日）まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日（月）に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、調査研究した教科書見本本の発行者（略称）は、東書、帝国の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p style="padding-left: 20px;">調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p style="padding-left: 20px;">上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他	This area is currently blank in the provided image	

様式 2

教科名		社会科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	東京書籍	新しい地図帳	301	帝国書院	楽しく学ぶ小学生の 地図帳3・4・5・6年	302
取 扱 内 容	<p>○各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについては、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「日本列島広域地図」において、都道府県における自分たちの住む市(区町村)の位置、市(区町村)の地形や土地利用、交通の広がりなどを調べたりする活動。</li> <li>・自分たちの都道府県の地理的環境の特色、自然災害から地域の安全を守るための諸活動を理解することについては、「日本の一般図」を活用して、国内における北海道の位置関係、北海道全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などを基に、都道府県の様子を理解したり、「日本の自然災害」において、過去に発生した自然災害について調べたりする活動</li> <li>・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについては、「日本とそのまわり」を活用して、世界の中における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解したり、「日本の資料地図」において、国内の主な農業生産や工業生産の盛んな地域の分布や輸出・輸入相手国の位置などを調べたりする活動。</li> <li>・優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについては、「日本の歴史と文化」を活用して、日本の世界遺産について調べたり、「世界の地図」や「世界のおもな国の統計」を活用して、我が国と他国のかかわりを調べたりする活動。</li> </ul> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭の世界と日本のイラストマップで学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで地図活用の手がかりを示したりすることで、児童が見通</li> </ul>			<p>○各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについては、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「広く見わたす地図」において、都道府県における自分たちの住む市(区町村)の位置、市(区町村)の地形や土地利用、交通の広がりなどを調べたりする活動。</li> <li>・自分たちの都道府県の地理的環境の特色、自然災害から地域の安全を守るための諸活動を理解することについては、「都道府県を見る地図」を活用して、国内における北海道の位置関係、北海道全体の地形や主な産業、交通網の様子などを基に、都道府県の様子を理解したり、「日本の自然災害と防災」において、自分の住んでいる地域で発生している自然災害の特徴について話し合ったりする活動。</li> <li>・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについては、「日本の領土とそのまわり」を活用して、世界の中における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解したり、資料図「日本の産業のようす」において、国内の主な農業生産や工業生産の盛んな地域の分布や輸出・輸入相手国の位置などを調べたりする活動。</li> <li>・優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについては、「日本の歴史と世界文化遺産」を活用して、日本の歴史と世界文化遺産を関連付けて調べたり、「世界の地図」や「日本と世界の結びつき」を活用して、外国とのかかわりを調べたりする活動。</li> </ul> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪の多い都市の工夫を示した札幌市中心部の地図で学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで児童の興味・関心を高めたりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができ</li> </ul>		

	<p>しをもって、学習問題の解決に取り組むことができる工夫。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知床など日本の全ての世界遺産(自然・文化)を写真付きで取り上げるなど、地域の自然に目を向けたり、保護・活用を考えたりできるようにする工夫。</li> <li>・「D(デジタル)マーク」を掲載し、学習を補完するコンテンツやWebサイトへの活用を促すことで、児童が学びを深めることができるようにする工夫。</li> </ul>
<p>内容の構成・排列・分量等</p> <p>1 内容の構成・排列については次のような工夫がされている。</p> <p>○巻頭の「地図のぼうけんに出発!」、「発見!わたしたちの日本」で学習意欲を喚起した後に「日本の47都道府県」、「地図帳の使い方」で地図帳の使用方法について学び、「日本列島広域図」、日本の一般図」「都市圏図」、「世界の地図」を取り扱うとともに「資料・統計」を掲載し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>2 分量については、次のようになっている。</p> <p>○「地図帳の使い方」が10ページ、「日本の全図」が8ページ、「日本の地方図」が33ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が31ページであり、相ページ数は102ページで、前回より9%増になっている。(判型はA4判)</p>	<p>る工夫。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しで地図の見方を示唆したり、活用を促したりするなど、児童が社会的事象に自ら着目したり、考えたりできるようにする工夫。</li> <li>・二次元コードを読み取り、学習を支援するコンテンツの活用を促すことで、児童が学びを深めることができるようにする工夫。</li> </ul> <p>1 内容の構成・排列については次のような工夫がされている。</p> <p>○巻頭の「世界発見!」「日本をながめてみよう」で学習意欲を喚起した後に、「地図って何だろう」、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」で地図帳の使用方法について学び、「広く見わたす地図」、「都道府県を見る地図」、「都市圏図」、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を掲載し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>2 分量については、次のようになっている。</p> <p>○「地図帳の使い方」が12ページ、「日本全図」が15ページ、「日本の地方図」42ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が31ページであり、総ページ数は120ページで、前回より40%増量となっている。また、版型がAB版からA版に変更されているが、紙質が向上し重さや丈夫さもこれまでと同等となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p> <p>○写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌ語に由来する地名や、北海道の広さを他の都道府県と比較する活動を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○「キャラクターのセリフ」により、地図の活用の着目点を示したり、学習方法を学習内容を補完する提示問題を位置付けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン(文字の書体や大きさ、配置場所の工夫、絵記号、色彩特性など)に配慮がなされている。</p>	<p>○写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、北海道の食材を使ってカレーライスをつくるために、北海道の野菜の産地を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○「地図マスターへの道」を設けることにより、児童の興味・関心を高めたり、教師役のキャラクターの問いかけによって、学習活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン(文字の書体や大きさ、配置場所の工夫、絵記号、色彩特性など)に配慮がなされている。</p>

その他	○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。	○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
-----	--------------------------	--------------------------